

令和 8年 2月吉日

保護者各位

市川市立第五中学校
校長 岡 良和

学校評価アンケート 12 月実施結果報告

「学校評価アンケート」の結果を報告いたします。本アンケートは、市川市公立学校で一斉実施するもので、生徒および保護者に実施しております。

今回の結果を踏まえ、家庭・学校・地域の連携のもと、教育活動および教育環境の充実と質向上に役立ててまいりますので、ご理解ご協力願います。なお、アンケート回答率は、次の通りです。ご協力に感謝申し上げます。（アンケート回答率：【生徒】80% 【保護者】69%）

1 「結果の見方」について

- 表内の「評価項目」は、1「確かな学力」、2「豊かな心」、3「健やかな体」、4「家庭・学校・地域の連携」以上4つの大項目ごとにまとめています。
- 「評価項目」は、市川市公立学校の共通項目に「学校で独自に設定した項目（項目1の5 項目2の4）」を加えています。
- 「評価項目」の質問文は、生徒向けと保護者向けの表現に分け、同様の内容を質問しています。
- 「評価結果(人)」は、評価項目の選択肢4, 3, 2, 1を選んだ合計人数です。
（選択肢：4「そう思う」 3「どちらかというと思う」 2「どちらかというと思わない」 1「そう思わない」）
- 「評価の平均値」は、評価結果をポイント換算し平均値を示しました。平均値が、2.5より増えると4「そう思う」に近づき、2.5より減ると、1「そう思わない」に近づくことを示します。
- 4「そう思う」と3「どちらかというと思う」を選択した人数を評価項目について「肯定的回答の割合」と示しています。

2 「学校運営について A:好ましく感じていて継続してほしい点 B:物足りなく感じていて検討してほしい点」について(保護者アンケート)

- 4つの評価項目をさらに「内容」に分けています。具体的なお意見を頂戴し、ありがとうございます。
- お寄せいただいた個々のご意見は、原則そのまま掲載し、内容が重複するご意見は、「同()件」と紹介しています。
- 個人・団体が特定できるような記載等、内容により、一部を要約・割愛して掲載しておりますが、お寄せいただいたご意見の趣旨を精査したうえで、職員会議等で共有するとともに、対応について検討してまいります。

3 「学校運営協議会の意見」について

- 直近開催の協議会における「評価結果」についての協議内容を記載しています。

4 「現状の分析および学校運営の方向性」について

- 「学校運営協議会の意見」を参考に、教職員で評価・協議したものを示しています。
- 個別案件については、学校全体で情報共有を図ります。そのうえで、「学校の役割」および「学校ができること、できないこと」を総合的に評価・検討し、教育活動の中で改善してまいります。

アンケートのご協力ありがとうございました。引き続き、

『子ども達の笑顔：😊わかった！ 😊できた！ 😊いいね！ 😊すてき！ 😊やった！』
を増やすとともに、『五中ブランド力向上』につながる学校教育活動を推進してまいります。

1 「確かな学力」について （生徒）

評価項目			評価結果（人）					評価の 平均値 1 2月	評価の 平均値 6月	評価の 平均値 増減	肯定的回答	
			4	3	2	1	計				1 2月	6月
確かな学力	1	目標を持って学習したり、生活したりしていますか。	142	201	66	20	429	3.08	3.02	0.06	80%	76%
	2	調べたいことやわからないことを自分から調べるなど、色々なことに興味を持って学習に取り組んでいますか。	135	198	75	21	429	3.04	3.03	0.01	78%	78%
	3	日頃から読書に親しんでいますか。	57	60	127	184	428	1.98	2.01	(0.03)	27%	30%
	4	日々の学習で、タブレットを活用していますか（4：ほぼ毎日 3：週2～3日 2：週1日 1：していない）	92	178	105	53	428	2.72	2.55	0.17	63%	55%
	5	学校では、個人に応じたていねいな学習指導を受けていますか。	144	183	76	24	427	3.05	3.15	(0.10)	77%	83%

1 「確かな学力」について （保護者）

評価項目			評価結果（人）					評価の 平均値 1 2月	評価の 平均値 6月	評価の 平均値 増減	肯定的回答	
			4	3	2	1	計				1 2月	6月
確かな学力	1	お子さんは、目標を持って学習したり生活したりしていますか	96	153	63	23	335	2.96	2.76	0.21	74%	63%
	2	お子さんは、調べたいことやわからないことを自分から調べるなど色々なことに興味を持って学習に取り組んでいますか	59	165	85	25	334	2.77	2.67	0.11	67%	59%
	3	お子さんは、日頃から読書に親しんでいますか。	46	52	108	130	336	2.04	2.01	0.03	29%	27%
	4	お子さんは、毎日の学習でタブレットを活用していますか。	32	82	119	96	329	2.15	2.13	0.02	35%	31%
	5	学校は、個に応じたていねいな学習指導を行っていますか	37	181	89	14	321	2.75	2.74	0.01	68%	65%

No.	内容	A:「好ましく感じていて継続してほしい点」・B:「物足りなく感じていて検討してほしい点」
1	学び	A/B:いつもありがとうございます。教室に行けない子の部屋があるのは本当にありがたいと思っています。先生も優しく、寄り添ってくださり、体を動かす機会を与えてくださったり、勉強を教えてください先生もいると聞いております。その反面、教室に行けない子にも、学ぶ機会をもう少し与えて頂けるとありがたいと思います。近年教室に行けない子、不登校の子が増えているとニュースで見えております。隣の浦安市では、不登校の子が通える場所ができたとも聞いております。毎日でなくても、何の教科でも空いてる教科の先生がわからないことを教えてくれる時間があったり、あすなろ教室の子を対象に特別授業して下さったりしてくれるとよりよく過ごしやすいのではないかとおもっております。もちろん参加したくない子もいるとは思いますが。先生も忙しい事は存じております。授業がない

	<p>時も準備等あるかとは思いますが、空いてる時間等に学びの時間を設けて頂けると嬉しいです。色々な事情があり行けない子がいると思います。教室に毎日行ける子と平等に勉強することは難しいと思っておりますが、少しでも学ぶ機会があるといいなと思っておりますので検討して下さいとありがたいと思っております。 B:あすなろ教室について説明がほしいです。その教室内に大人の目は行き届いていますか？出入り自由なのですか？嫌がらせをされている子がいるようなので、確認していただきたいと思います。よろしくお願いいたします。 B:放課後に残して指導するのはやめて欲しい B:インフルなどで休んだ際の補習など、遅れとときの対応をしてほしかった。子供が求めても、対応してくれなかったのが残念でした。先生たちが忙しいのはわかりますが、子供が求めた際は何らかのかたちで誠意を見せてほしいです。 B:一人一人のニーズに応じる事は、公立の学校には求められていないと思います。本業に専念して頂きたい。 B:タブレットの故障時の対応を検討していただきたい。</p>
行事	<p>A:1年生の時の球技祭のやり方で毎年運営して欲しいです。球技だけではなくて、歌いたい人は歌ったり、踊りたい人は踊ったりしたそうで、とても楽しかった。と言っていました。生徒主催で、やらせてもらえたようで、聞いているだけで、とても良いイベントだなあと感じました。(出来たらビデオ等撮って親も観られるようにして欲しいです) A:合唱祭は毎年感動をもらえたので継続してほしい A:子供達に任せるところ A:校長先生自ら行事を盛り上げている B:文化的な体験が不足していると思います。芸術鑑賞などほとんどない3年間でがっかりしました</p>

< 現状の分析及び学校運営の方向性 >

【全体分析】

「確かな学力」について、前回(6月)と比べ今回(12月)の結果では、【評価の平均値】が生徒は5項目のうち3項目、保護者では5項目すべて向上がみられました。また、生徒では、「1 目標を持って学習する」「2 色々なことに興味を持って学習する」「5 個人に応じたていねいな学習指導を受けている」3つの項目で、【評価の平均値】が 3.0 を超え、比較的高い数値を示しており、生徒が主体的に学びに向かう力をさらに伸ばす手掛かりになると考えます。この部分は、前々回(R6:12月)、前回(6月)と同様の傾向がみられます。

「4タブレットを活用・・・」「5個に応じた学習指導・・・」の評価結果で生徒と保護者の評価平均値を比較すると生徒の側に、より肯定的な傾向がみられ、保護者との相違がうかがわれました。

「3読書に親しむ・・・」の評価が、比較的低い数値を示しています。生徒の言語能力を育成するとともに情緒面の伸長など、読書から得るものは多大であることから、読書教育、学校図書館経営、生徒会活動など、読書に親しむことにつながる啓発活動を継続してまいります。

【部分説明】

■校内教育支援センター『あすなろ教室』の運営では、利用生徒の安心・安全の向上を図り、長期欠席生徒の減少および教室復帰生徒の増加など成果がみられています。運営スタッフとして「不登校支援教員」と「みらいサポーター」を中心に「スクールカウンセラー」、「ライフカウンセラー」、「各専科教員」などが交代で在室(曜日、時間帯により1～4名程度)し、指導・支援します。生徒は個々のニーズに応じて「教育相談」「学習相談」「個別学習」「クラスの授業に参加」「オンライン授業参加」「行事の部分参加」「作業実習」「軽スポーツ」「ソーシャルスキルトレーニング(ボードゲーム等)」などを行います。利用を希望する場合は、生徒・保護者と不登校支援教員・校長・担任で利用方法を相談・確認したのちに利用してい

ます。

■放課後指導の多くは「提出物が期限に間に合わなかった」など生徒個々の状況により臨時的に行います。また、成績・評価に関わる課題を救済のために行う場合もあります。

■体調不良のため授業を欠席した場合の学習補填について一例をあげると、「欠席した授業の内容部分を教科書・ワークシート等で生徒が自習し、わからないところを教科担任に質問する」ことがあります。その他「成績・評価につながる課題の提出等は登校再開後に教科担任が説明して提出を促す」「ドリルパーク(学習アプリ)で解答、答え合わせを行う」「体調が回復していてタブレット準備・授業内容等、可能な状況であれば家庭で Teams(リモート配信)で参加する」など、教科の特性および授業の内容によりケースバイケースで行っています。また、実験・実習をとまなうなど授業の内容により補填が困難な場合もあります。なおインフルエンザ等による学級閉鎖時には Teams で学習課題を提示しておりますが1月から学校ホームページに閉鎖学級用の課題を掲載し家庭学習支援の向上をはかりました。

■五中教育活動に関連する文化的体験および芸術鑑賞の例として、城山祭(合唱コンクール)、英語スピーチコンテスト、音楽科:鑑賞単元、各方面からの作文、ポスター募集への応募等を行っています。

■「体験活動」とは、生活・文化体験、自然体験、社会体験など、人・自然・社会と直接関わる実体験を通じた学習活動であり、五中教育活動の例をあげると「体育祭、城山祭(合唱コンクール)など学校行事」「校外学習・修学旅行・宿泊実習(若草学級)での歴史・文化体験や野外炊事、オリエンテーリング・ラフティング・サップなどのアウトドア自然体験」「さわやかスポーツフェスタ・小学校と交流会・合同卒業生を送る会(若草学級)等の交流体験」「地域行事に参加するボランティア体験」など多岐に渡ります。体験活動の効果として多くの人と関わりながら体験を重ねることにより「社会を生き抜く力」として求められる「コミュニケーション能力」や「他者と協働する能力」等を育むことが期待されます。

■タブレットが故障した場合、市教育委員会を通じて委託業者が回収・修理を行います。市が配付したタブレットは使用開始から5年程度経過しており、修理件数の増加とともに修理期間が長くなる現状があります。また、修理時に貸し出せる学校予備機の在庫がなくなっており、この点について市教育委員会に継続要望してまいります。

< 学校運営協議会の意見 >

◎オープンスクールでは、理科と英語で一つのクラスに先生が二人体制で授業を行っていた。活動中の個別サポートなど学習を深める手段として今後も有効に行えるとよい。 ◎学習指導要領が求める「主体的・対話的・深い学び」推進の手立てとして、年2回、各教科担任の授業内容を生徒が評価するアンケートを実施している。その結果を参考に各教科で授業スタイルの改善を図っている。 ◎昨今は情報を得るならスマホ、タブレットで検索することが効率面で良い。その反面、読書の良さを多面的に伝えることが重要である。詩集・短編などが心の栄養として子供たちの情緒の安定に役立つこともある。家庭でも親子で本に触れる機会を増やすとよい。

2 「豊かな心」について(生徒)

評価項目			評価結果（人）					評価の 平均値 1 2月	評価の 平均値 6月	評価の 平均値 増減	肯定的回答	
			4	3	2	1	計				1 2月	6月
豊かな心	1	友だちの良いところを見つけることができますか	282	132	12	3	429	3.62	3.60	0.02	97%	96%
	2	困ったことがあった時に相談できる先生がいますか	159	174	54	42	429	3.05	3.10	(0.05)	78%	79%
	3	学校の活動では、体験（見る、聞く、触れる）や交流が取り入れられていると思いますか	173	184	47	24	428	3.18	3.24	(0.06)	83%	85%
	4	自分には、良いところがあると感じることがありますか	98	198	103	30	429	2.85	2.85	(0.00)	69%	70%

2 「豊かな心」について(保護者)

評価項目			評価結果（人）					評価の 平均値 1 2月	評価の 平均値 6月	評価の 平均値 増減	肯定的回答	
			4	3	2	1	計				1 2月	6月
豊かな心	1	お子さんは、友だちと「お互いの良さを認め合う」ような関係づくりができていますか	114	187	25	8	334	3.22	3.25	(0.03)	90%	92%
	2	学校には、一人一人のニーズに対応したきめ細やかな支援体制が整っていると思いますか	42	172	90	16	320	2.75	2.76	(0.01)	67%	68%
	3	学校は、体験活動を取り入れていると思いますか	54	191	69	6	320	2.92	2.85	0.07	77%	71%
	4	お子さんは、自己肯定感（自分には良いところがあると感じる）が高まる経験をしていますか	83	191	48	11	333	3.04	3.04	(0.00)	82%	82%

No.	内容	A:「好ましく感じていて継続してほしい点」・B:「物足りなく感じていて検討してほしい点」
2	教育相談	A:先生方が生徒に寄り添う姿勢が素晴らしい(同3件)
	生徒指導	A:基本的には友達を大切に思い、楽しい学校生活が送れていると思います。A:先生が生徒の良さを引き出してくれている A:生徒との距離感が適切で、目線を合わせて向き合ってくれる先生が多いと思う(同1件) A:担任の先生が一人一人の生徒をよく見てくれている B:集団責任の色味が強く、一部の生徒の悪事のたびに、学年全体が体育館に集められ指導が入る。関係のない良い行いをしている生徒にとって、これほど無意味な時間は無いのではと思う。いい加減、集団責任という古い風習を考えなおしてほしい。
	服装	B:1年生のベスト着用を検討してほしい。下着が透けるではなく、体型が分かりやすくなることが不安。検討する人がおじさんお婆さんでは意味がない。保護者、子供達にアンケートをとって欲しい。
	部活動	A:いつもありがとうございます。だんだん部活動が楽しくなり、もっとやりたいようです。A:部活命の子どもです、放課後も休日も指導してくださる顧問の先生には感謝しかありません いつもありがとうございます

<現状の分析及び学校運営の方向性>

【全体分析】

「豊かな心」の育成について、生徒、保護者ともに、全項目で比較的高い評価結果であり、とくに生徒の評価結果では、項目1, 2, 3で「そう思う」の割合が高く【評価の平均値】を押し上げており、前回(6月)と同様の傾向を示しています。教育課程全般、とくに生徒会活動、実行委員会活動、学級活動、部活動等により、生徒が主体性を伸ばし、多くの仲間と笑顔や感動体験を共有する瞬間の積み重ねとともに家庭教育および地域の健全育成活動の賜物と考えます。

また、生徒と保護者の【評価の平均値】を比較すると、「2困ったときに相談できる先生…、一人一人のニーズに対応したきめ細やかな支援体制…」 「3体験活動…」の二項目で生徒は「3」を上回り、保護者は「3」に満たない傾向がみられました。その一方、「4自分には良いところがある…、自己肯定感…」の項目で生徒は「3」に満たず、保護者は「3」を上回り、双方の意識に異なる傾向がみられました。

引き続き、生徒指導および道德教育並びに教育相談活動と合わせ、主体的な生徒活動による自己肯定感の向上をはかり生徒の「豊かな心」の育成を推進してまいります。

【部分説明】

■前回(6月)に続けて教職員が生徒一人ひとりに寄り添う姿勢に信頼を寄せるコメントが多くありました。日常の学校生活における教職員と生徒の良好なコミュニケーションによるところと考えます。また、三年生に行った校長面接では「五中は先生と生徒の距離感がちょうどよくて話しやすい、学校に楽しく通える…」との声が数多く聞かれました。

■生徒の不安・悩みを受け止めてケアするシステムの例として、担任と生徒のスコラ手帳のやりとりや、毎学期、個別アンケートとともに実施する教育相談面談に加え、カウンセラーに直接つながる「相談ポスト」を設置しています。それ以外でも、生徒が教員にいつでも相談しやすい関係づくりに努めています。また、学校外の相談窓口・専門機関の連絡先を学校ホームページや長期休業中のしおりでお知らせしています。

■学年集会は定期的実施しています。内容は、「新学期オリエンテーション」「校外学習関連」「長期休業中の連絡事項」などとなります。また、生徒指導(ルール・マナー啓発、SNSトラブル防止)など生徒の道德意識向上を図るために臨時的に行うことがあります。頻繁に実施するものではありません。

■令和6年度、制服改定を検討するにあたり、五中生徒および保護者と五中ブロック小学校5, 6年児童および保護者にアンケート調査を実施しています。調査のなかで、「指定ベストについて、あてはまる考えを選択してください」の問いへの回答割合が、「A:ベストは不要 23.5%」「B:ベストが必要な家庭がニット製品など市販品を用意する 57.6%」「C:指定ベストが必要 18.9%」でした。また、指定ベストについて、市川市内でブレザータイプの制服を使用している五中以外の中学校9校のうち、「指定ベストなし:6校」「指定ベストを廃止する予定:1校」「指定ベストあり:2校」でした。これら調査結果および予定価格(当時で約11,500円)を参考に新制服から「指定ベスト」を除いた経緯があります。なお、制服スカートと同じ柄生地ベスト(改定以前に女子制服としていた、いわゆる「指定ベスト」)について、制服メーカーによる受注・生産が可能になります。とくに希望する場合は取り扱い店にお問い合わせください。

< 学校運営協議会の意見 >

◎生徒指導に関する情報が子供のフィルターを通して親に伝わるが、内容によっては指導のねらいからはずれて伝わり誤解を生む場合がある。今回のアンケートでもあるような「問い合わせ」に応じる「部分説明」によるすり合わせなど、学校と家庭の情報共有の手立てを工夫してほしい。 ◎全校・学年に関わる緊急性が高いもの、SNSによるトラブル防止など、重要なものは全体への啓発・指導を行うべきではないか。 ◎自己肯定感がない子供を減らすことを目指したい。

3 「健やかな体」について(生徒)

評価項目			評価結果(人)					評価の 平均値 12月	評価の 平均値 6月	評価の 平均値 増減	肯定的回答	
			4	3	2	1	計				12月	6月
健やかな体	1	日頃から運動やスポーツに親しんでいますか	224	92	66	46	428	3.15	3.32	(0.17)	74%	80%
	2	給食では、栄養やマナーなどを意識して食べていますか	221	126	57	24	428	3.27	3.31	(0.04)	81%	84%

3 「健やかな体」について(保護者)

評価項目			評価結果(人)					評価の 平均値 12月	評価の 平均値 6月	評価の 平均値 増減	肯定的回答	
			4	3	2	1	計				12月	6月
健やかな体	1	お子さんは、運動やスポーツに親しんでいますか	139	79	71	46	335	2.93	3.08	(0.15)	65%	71%
	2	お子さんは、望ましい食習慣が身についていますか	112	160	50	11	333	3.12	3.14	(0.02)	82%	81%

No.	内容	A:「好ましく感じていて継続してほしい点」・B:「物足りなく感じていて検討してほしい点」
3	健康安全	<p>A:性教育講演会 家庭で話題にしづらいデリケートなところを医師の立場から説明していただけるので大変ありがたい 継続してほしい B:お昼休み、行間など子どもたちの休憩時間が潰れるような学級・学校運営の仕方はやめてあげて欲しいです。また休み時間に強制で外で遊ばせる、みんなで同じことをさせるのはやめてほしい。それぞれ許容範囲内で好きに過ごさせて欲しいです。 B:寒いので学校でもセーター着用を認めて欲しい B:上の長袖ジャージの下にセーター着用が不可なのが意味がわからない。寒い時期は個人の判断で良いのでは。 A:野菜など食材豊富な給食献立は、最近の物価高のなか有り難いです、家庭ではなかなかできないところです B:給食が少ないと言っています。味も落ちたとの事です。ブログを見ても、これだけ?と心配です。この量なら給食費を払った方がマシだとすら思います。 B:前回のアンケートにも記入しましたが、クーラー設備を1日も早く設置してあげてほしいと思っています。市の対応が遅すぎるの一言に尽きます。何か問題が起きてから対処するのではなく、必要な場所に適切な環境整備をするのは当然のことと感じます。工事に早く着手してほしいところです。</p>

<現状の分析及び学校運営の方向性>

【全体分析】

生徒の健康増進・体力向上を図り、「健やかな体」を育成するなか、【評価の平均値】で生徒、保護者ともに各項目3.0前後と前回(6月)と同様の傾向で比較的高い結果でした。「1 運動やスポーツに親しむ」について、学校での主な運動機会は、「体育授業」「昼休みの外遊び」「運動部活動」ですが、これからも「体育年間指導計画の工夫改善」「昼休みの外遊び奨励」「運動部活動の地域展開」を進めてまいります。「2 望ましい食習慣」育成のため、家庭科学習(食物の栄養素、調理実習)や給食献立の工夫改善とともに、生徒会活動:保健給食委員会による啓発を行っています。(例:給食室の調理の様子を取材して動画で紹介し残菜減少を啓発。各クラス配膳コンテスト)

【部分説明】

■昼休み(20分間)、生徒は「教室でのんびり」「校庭でスポーツ・外遊び」「図書室で読書・本選び」「ひだまりルーム(カウンセリング室)に自由来室」など各自が自由に過ごしています。学校での運動機会を増やす視点から「スポーツ・外遊び」を奨励しておりますが、昼休みに校庭に出ている生徒数は昨年度ピーク時に約150名だったところ今年度は約200程度と増加傾向がみられました。また、クラス内で行事の実行委員を中心に体育祭や球技大会直前にクラス対抗種目を練習したり、城山祭(合唱コンクール)前に数日間、合唱練習を行ったりすることがありました。また小学校のような長めの「業間:(授業と授業の間)」休み時間は中学校では設定しておりません。

■市販のニットセーター・ベストを保温用としてブレザーやジャージ(体育授業を除く)の下に着用可としています。

■学校給食は「中学生年代の必要量など各種基準」および「食育」に関連する食文化や食習慣に配慮し学校栄養士が献立を作成します。(例:一食量は約800kcal、各種栄養素の適量摂取、和食の日設定、地産地消、様々な食材と料理の経験等)なお、中学生年代では1日の推定必要エネルギー量(kcal)は、男子2600kcal・女子2400kcalが目安であり、そのうちの3分の1を給食でまかなうこととしています。また、朝食を抜いたり、朝食の量が少なかったりすることで活動に必要なエネルギーが不足すること、夏季には熱中症を引き起こしやすくなることなどが心配されます。本校調査では朝食を抜く生徒は約4%と、多くのご家庭で配慮されている状況がみられます。引き続き家庭と連携した健康教育の一環として指導・啓発してまいります。各教室では、希望する生徒が増量やおかわりを日常的に行います。その一方で汁物、和え物など野菜を多く使う献立で残菜が目立つ状況があります。なお、「給食が少ない」と感じられた一因として7月・9月に行われた次の市施策が推察されます ⇒『暑さ対策のため厚生労働省労働安全衛生規則改正に伴い、9月第2週まで、給食に使う食器の数を減らして対応いたします。(例)「ごはんの上におかずを盛り付ける」このことにより、給食室の室温上昇を抑制するとともに、調理や食器洗浄時間を短縮し、給食室で働く方々の健康安全保持を図ります』(五中ブログ「今日の給食」で期間中お知らせ)

■給食食材費は市川市で定額設定されておりますが昨今の物価上昇の影響により、市では定額の引き上げを随時行っています。(『R7学校評価6月結果』:学校HP公開中) また、献立面では食材選びを価格・栄養価・地産地消・旬の食材など様々な面で工夫したり、手作りのデザート類を提供したりするなど研究、改良を重ねています。

■体育館のエアコン工事について前回アンケート結果報告(『R7学校評価6月結果』:学校HP公開中)でお知らせしています。⇒「五中体育館のエアコン設置は、来年度(令和8年)夏休み中に設置工事を予定。また、暑さ対策の一環で、今年度から、体育館で練習する部活動が、夏休み期間に大柏小、柏井小体育館(エアコン設置済み)を借用できるように調整しました。令和8年度以降も継続できるよう、近隣小学校と調整する予定です。」なお、現時点でエアコン未設置の特別教室(技術室・家庭科室・第3理科室)については「設置予定」となっていますが工事時期は現時点で示されておりません。

< 学校運営協議会の意見 >

◎3年生が部活動引退後、「スポーツに親しむ・・・」項目の評価が下がる傾向が例年みられる。 ◎部活の活動時間は市ガイドラインにより減っている。放課後最終時刻はガイドラインが発出される前には夏季で18:30までの期間があったが、ガイドライン発出後には夏季で17:30に早まっている。

4 「家庭・学校・地域の連携」について(生 徒)

評価項目			評価結果 (人)					評価の 平均値 1 2月	評価の 平均値 6月	評価の 平均値 増減	肯定的回答	
			4	3	2	1	計				1 2月	6月
関係者 連携	1	学校の活動で、地域の方たちと共に学ぶ機会がありますか。	43	77	145	162	427	2.00	2.23	(0.23)	28%	37%

4 「家庭・学校・地域の連携」について(保護者)

評価項目			評価結果 (人)					評価の 平均値 1 2月	評価の 平均値 6月	評価の 平均値 増減	肯定的回答	
			4	3	2	1	計				1 2月	6月
関係者 連携	1	学校は、保護者や地域の方々と共に、子どもを育てる取組を進めていると思いますか	53	206	59	7	325	2.94	2.93	0.01	80%	78%

No.	内容	A:「好ましく感じていて継続してほしい点」・B:「物足りなく感じていて検討してほしい点」
4	情報発信	A:ブログやおたより、いつも楽しく拝見しています。ありがとうございます。先生方のご尽力に感謝しております。(同2件) A:ブログの更新。毎日の学校の様子だけでなく週末の部活や給食の手書きの説明など手間が掛かっていて大変だと思います。いつもありがとうございます。楽しみに見えています。 A:学校ブログは他学年の様子もわかるし、とても楽しみに見えています。 A:卒業した上の子が五中ブログを日々フォローしています
	情報共有	B:三者面談は子供の前だと話せないことがあるので二者面談が年一あればありがたいと思う B:三者面談ではなく、親と先生 子供と先生の二者面談の方がお互いに質問しやすい、返答しやすい 子供の前で聞きづらい、言いづらい事もあるし、子供も親には聞かれない、言いたくない事もあるので分けて欲しいです B:先日面談で学校生活について先生から何も話がありませんでした。面談ではそういった話しはしないものなのでしょうか。(1回目の面談では話がありました)おそらく何か話したくない触れたくないことがあったのではと思います。そういう先生だったのかとすごく残念に思いました。
	ボランティア	A:スマイル五中ボランティア活動(同2件) A:地域のボランティア活動も機会があれば、どんどん参加して、学校からも評価をいただけたら、うれしいと思います。(同1件) B:ボランティア活動、ボランティアや社会貢献の概念を身につけるために県立小学校、家庭で体験や活動を共有していきたい。他先進国の様な校長と生徒との時間がほしいところ。 B:ボランティア活動を増やしてほしい
	その他	部活動支援体制は市全体で考えるべき内容ですが、教師の方々だけではやはり無理があるので、特に柏井や大柏地域は地域とのつながりもあることから、地域の協力者を募り協力者による部活動支援体制をとるのが良いと思います。部活動もサッカーやテニスといった定型の内容だけでなく、農業活動とか自然散策とか新しい内容を取り入れるのが良いと思いました B:危機管理

< 現状の分析及び学校運営の方向性 >

【全体分析】

「家庭・学校・地域の連携」について、【評価の平均値】が前回(6月)と同様に生徒は2.5を下回り、保護者は上回る結果となり、両方で相異なる傾向を示しています。五中では保護者や地域に向けた情報発信を活性化するとともに保護者・学校・地域住民・学識経験者で組織する「学校運営協議会」の充実を図っております。

加えて今年度、市教育委員会コミュニティ・スクール事業「地域学校協働活動」を利用し「スマイル五中」のネーミングで行っています。これは、保護者・地域の方々が気軽に学校のサポートに関わり、子供たちの笑顔を育む持続可能なボランティア活動として、環境整備作業などを行うものです。グラウンド周辺の草刈り、樹木の枝落とし、側溝の泥上げ作業を第1回、2回と保護者・地域の有志ボランティアの方々、第3回は生徒ボランティアも加わり環境整備を行いました。

学校に「保護者参加のイベントを実施してほしい…」との声も寄せられていることをふまえ、引き続き「スマイル五中」活動を企画してまいります。

【部分説明】

■今年度も学校ホームページを活用し、「子ども達の笑顔を増やす」「五中ブランド力の向上」につながるよう、五中の魅力発信を推進しています。五中生が、日々の授業・生活・行事・部活に取り組む様子から「わかった!」「できた!」「いいね!」「すてき!」「やった!」の多彩な感動体験が伝わります。令和6年4月、五中ホームページにアクセスカウンターを付けてから、今年1月時点の累計アクセス数は、80万件を超え、一日平均アクセス数は、2800カウント(12月)に及び、7000を超えた日もありました。授業の様子など各ブログ記事の『いいね!』カウントが増えることで「海外と比較して日本の子ども達が低い」といわれる『自己肯定感』が向上し生きる力が高まる効果をねらっています。今後も五中ホームページにアクセスおよび『いいね!』で子供たちの笑顔を増やす取組に応援よろしくお願いいたします。

■三者面談は、生徒・保護者・学級担任の三者により、学校および家庭での生徒に関する情報を共有し相互に理解を深めることを目的に実施しています。それとは別に、保護者と学校の二者で電話や対面による相談を希望される際は、時機に応じて個別に受け付けております。

■五中では、生徒に地域イベントへのボランティア参加を奨励しており、地域団体からの各種募集に応じて多くの生徒が参加しています。他にも吹奏楽部、合唱部が地域イベントに出演し好評を得ています。今年度、新規に柏井公民館文化祭の会場設営サポートの要請があり、生徒ボランティアが参加して地域貢献に一役かったところです。このことは、将来、地域の担い手として期待される子供たちにとって意義があり、参加した生徒の自己有用感・自己肯定感の向上や社会性を育むなど、高い教育効果が期待でき、今後も地域の要請に応じてボランティア活動を拡大していきたいと考えています。

■政府が推進する「学校部活動地域展開」の施策関連では、土日など休日に教職員に代わって部活動を専門的に指導することが可能な「地域指導者」の配置を市教育委員会が始めています。五中では、昨年12月からバドミントン部に地域指導者が配置され指導にあたっています。

< 学校運営協議会の意見 >

◎アンケート回答率:【生徒】80%は前回から向上し学校の努力を伺える。◎地域ボランティアに参加した生徒に授与される「ボランティア証明書」の認知をはかりたい。◎「学校は保護者や地域の方々と共に子供を育てる取組を進めている…」項目の保護者の肯定的回答割合が非常に高く喜ばしい。

◎小学校から中学校に上がると年齢的な要素もあり、日ごろの様子が見えづらく触れ合う機会もなくなる。◎PTAとしても保護者参加イベントのニーズがあるなら清掃活動、親子ふれあいデーなどの企画を検討・工夫したい。◎部活動の地域移行、地域展開が進むなか部活動に代わるものとしてボランティア活動の存在意義が高まるのではないかと。◎柏井公民館では五中生のボランティア機会を増やし、がんばった姿を写真パネルで残すなど検討したい。

アンケートのご協力ありがとうございました。引き続き、

『子ども達の笑顔: 😊わかった! 😊できた! 😊いいね! 😊すてき! 😊やった!』を増やすとともに、『五中ブランド力向上』につながる学校教育活動を推進してまいります。